



# 新刊案内



## 近鉄開業 125 周年記念出版

### エコーする〈知〉

# 近鉄沿線の近現代史

●三木理史(奈良大学教授)●体裁:A5判・並製 約200頁 【CPCリブレ No.18】

●定価: 本体 2,000 円 + 税 ISBN978-4-910672-15-1 C0021

### 2022 年 10 月 7 日発売

広域路線型民鉄の典型で、営業距離数日本一の近鉄。“話題の”大和西大寺駅から書き始めて複雑な路線図・沿線史をわかりやすく描き出す。沿線の発展史はもう一つの合併史でもある。

序章 大和西大寺駅から

写真・図 85 枚入り

第1章 民鉄最長路線の素顔

第2章 奈良線・橿原線・大阪線西部

第3章 京都線・生駒線・けいはんな線・難波線

第4章 南大阪線・吉野線・道明寺線・御所線・長野線

第5章 名古屋線・鈴鹿線・湯の山線

第6章 生駒・西信貴残鋼索線

第7章 大阪線東部・山田線・鳥羽線・志摩線

終章 中川短絡線から

あとがき 関連年表



オレンジと紺色のビスタカーⅡ世



人相川を渡る河陽鉄道時代の列車(1898年頃) 和歌山-若狭間 写真提供:松永昌典

たとえば阪神電気鉄道の通史を執筆するのなら、1905(明治38)年4月の神戸(三宮)―大阪(出入橋)間開業から書き始めるか、せいぜい1899年10月の会社設立登記を起点にして異論は出ないでしょう。ところが近鉄は、前身である大阪電気軌道(以下大軌)の1914(大正3)年4月の上本町―奈良(仮)間を10年以上も遡る1898年3月に河陽鉄道が柏原―古市間(現在の道明寺線・南大阪線の一部)で開業しています。それ以外にも近鉄の合併会社には大軌線に先立つ開業会社が複数存在します。

近鉄の歴史を、企業史と見るか、路線史と見るか、によって、その解釈が変わってきます。とにかくその起点が他社と違って複雑ですが、同様の事例は西武鉄道や名古屋鉄道でも生じています。―本文P.20 第1章 民鉄最長路線の素顔2つの開業より

著者略歴 :1965 年大阪生まれ。1991 年関西大学大学院文学研究科博士課程後期課程中退。現在奈良大学文学部教授。専門は歴史地理学・鉄道史。

●好評既刊 永江雅和著『小田急沿線の近現代史』(定価: 本体 1,800 円 + 税) ISBN978-4-905388-83-8 C0021

●好評既刊 永江雅和著『京王沿線の近現代史』(定価: 本体 1,800 円 + 税) ISBN978-4-908823-15-2 C0021

●好評既刊 大矢悠三子著『江ノ電沿線の近現代史』(定価: 本体 1,800 円 + 税) ISBN978-4-908823-43-5 C0021

●好評既刊 小堀 聰著『京急沿線の近現代史』(定価: 本体 1,800 円 + 税) ISBN978-4-908823-45-9 C0021

●好評既刊 永江雅和著『中央沿線の近現代史』(定価: 本体 2,000 円 + 税) ISBN978-4-908823-73-2 C0021

クロスカルチャー出版 101-0064 東京都千代田区神田猿樂町 2-7-6 電話 03-5577-6707 ファクス 03-5577-6708

書店印 発行: クロスカルチャー出版 TEL: 03-5577-6707 FAX: 03-5577-6708

## 近鉄沿線の近現代史

■定価: 本体2000円+税  
ISBN978-4-910672-15-1 C0021

お名前  
ご住所

【返条付】 冊